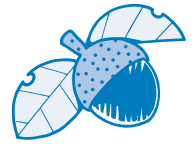




# すいた 社協だより

第86号



秋号

「社協だより」の「社協」とは「社会福祉協議会」のことです。社協は、地域の福祉活動を支援しています。



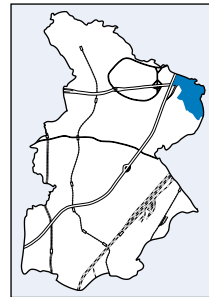
7つのプールで遊びました！  
(東山田地区)

- 地区福祉委員会の「地域の助け合い活動」**
- 親子の仲間作りの場「子育てサロン」
  - 高齢者のふれあいの場「いきいきサロン」「ふれあい昼食会」
  - 同じ住民としてつながる「障がい者(児)交流」
  - 子どもと高齢者がふれあう「世代間交流」
  - 安否確認で生まれる絆「見守り声かけ活動」
- など

「地域の助け合い活動」が  
孤立を防ぎます!!

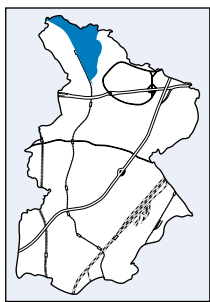
東日本大震災では、改めて「ご近所同士のつながり」が注目されています。「困ったときはお互いさま」という日頃からの関係づくりが、災害に強いまちづくりにもつながります。地区福祉委員会では「助け合い活動」を通じて、地域で孤立する人がないように心がけています。

8月5日(金)、東山田地区福祉委員会(大塚幹雄委員長)の子育てサロン「ぷいーさんくらぶ」は、合同で水遊びをしました。参加親子は36組75人で、元気にプールに入る子どもたちでにぎわっていました。水遊びに慣れていない子どもたちには、お母さんたちが優しく声かけをしていました。お母さん同士の会話も弾んだようです。福祉委員さんが見守る中、楽しい時間を過ごすことができ、夏らしい子育てサロンとなりました。



東山田地区

藤白台地区福祉委員会(石井裕子委員長)では、毎月第4水曜日に藤白台市民ホールで「いきいきサロン」を開催しています。7月27日(水)の「いきいきサロン」では、



藤白台地区



今年も盆踊りの季節になったね！  
(藤白台地区)

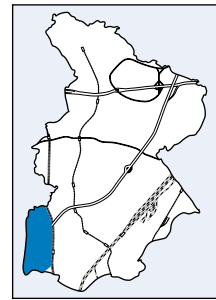


社協プログラム

毎年地区の盆踊り大会に向けて盆踊りの練習をしています。この日も、河内音頭、炭坑節、ドンパン節を繰り返し練習しました。「結構汗かくね」「一年ぶりだけど、体が覚えてるね」など、会話が弾んでいました。



うまく歌えたかな?  
(豊津西地区)

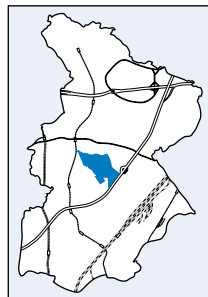


豊津西地区

豊津西地区福祉委員会(渡邊眞委員長)は7月15日(金)に、ふれあい昼食会を開催しました。  
今回は、豊二小学校

2年生の子どもたちに歌を披露してもらいました。  
参加者が顔見知りの子どもを見つけて手を振ると、子どもも笑顔で返すなど、ほほえましい光景が見られました。  
これから子どもたちと高齢者のみなさんが、地域で気軽にあいさつできる機会が増えるといいですね。

8月23日(火)に、滋賀県高島市の「吹田市立少年自然の家」で、佐井寺地区福祉委員会(岩井一雄委員長)が地域の小中学校の支援学級に通う子どもたちと交流しました。今年で6回目になります。



佐井寺地区



待ちに待った川あそび!  
(佐井寺地区)

子どもたちや付き添い家族、福祉委員、先生方など、総勢51人が参加し、川遊びやグラウンドゴルフを楽しみました。子どもたちも大人と一緒に自然の中で楽しい一日を過ごしました。  
今回の交流で顔見知りが増え、地域に帰っても声をかけ合える仲間になりました。また、福祉委員にとっても障がいをもつ方への理解が一層深まる機会となりました。

相談者

- ①50代男性。持病による半身麻痺が交通事故で悪化し、生活上、不便なことが増える。
- ②仕事ができなくなり、経済的にも困窮。
- ③離婚により、一人暮らしになり、兄弟が心配し相談。

CSWが支援した内容

- ①担当の民生委員に、本人の状況を伝え、見守りなどの支援を依頼。
- ②障害者手帳の申請のほか、障がい者制度の利用を本人と検討。
- ③生活保護の申請手続きに同行。受給につながったことで、生活基盤が安定。



CSW(コミュニティ・ソーシャルワーカー)は、地域の皆さんのお困りごとの解決にあたる「地域の福祉相談員」です。

●お悩み・お困りごとの相談は、吹田市社協CSW(06-6339-1254)まで。

相談者は離婚を機に転居。一人暮らしをする事になり、新しい地域で不安に思っており、また体が不自由なため、制度やサービスの利用申請が一人では困難な状態でした。  
CSWは本人に寄り添いながら、地域の方々と専門機関と連携して、支援しました。



がれきの撤去作業をしています



作業前のオリエンテーション

# 吹田市社協施設連絡会 ボランティアバスで 被災地を応援!

吹田市社協施設連絡会(熊井茂治会長)では、8月26日(金)から28日(日)にかけて、宮城県南三陸町に災害ボランティアバスを運行しました。  
今回のボランティアバスには、施設連絡会から16施設24人が参加しました。

また、施設連絡会加入施設から集まった義援金55万円を、南三陸町災害ボランティアセンターに手渡ししました。参加した施設職員は「被災地支援という形で、社会貢献ができて良かった」と話していました。

## 吹田市社協施設連絡会

平成17年に、吹田市社協の組織構成委員会である民間福祉施設によって「福祉施設の特徴を活かした地域貢献」を行うことを目的に設立されました。  
これまでも、地区福祉委員会に活動の場を提供したり、施設職員を講師として派遣するなど、さまざまな形で地域貢献に取り組んでいます。

## 吹田市社協が 取り組んだ 被災地支援活動

東日本大震災発生以後、吹田市社協は延べ6人の職員を被災地に派遣し、支援活動を行いました。



ボランティアをコーディネートする派遣職員

また吹田市社協窓口では義援金募集や、吹田市への避難者を支援する見舞金給付の受付を行うとともに、吹田市が集めた救済物資を仕分けするためのボランティア募集などの活動をとおして被災地・被災者を支援してきました。  
今後、継続的に被災地の復興支援に取り組んでまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。

## 精神保健福祉ボランティア養成講座開催

最近身近になっている「心の病」。ともに地域で生活する住民として自分何ができるか一緒に考え、行動してみませんか?

- ◆対象：精神保健福祉に関するボランティア活動に興味のある方、全ての講座と実習に1日以上参加できる方
- ◆参加費用：1,000円(資料代・ボランティア保険代)
- ◆申込：吹田市ボランティアセンター(☎06・6339・1254)
- ◆受付期間：11月1日(火)～22日(火) ◆定員：先着40人(受付は、土日祝日を除く9時から17時30分まで)

日程/会場	内容 / 講師
11月26日(土) 10時～12時 吹田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の病を持った方のお話</li> <li>ボランティアとしてのかかわりについて</li> <li>オリエンテーション、実習施設の紹介</li> </ul> ・グループワーク
12月3日(土) 10時～12時 総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>「精神障がい理解とかかわり方について」</li> </ul> のぞみ福祉会 稲垣恵美氏 ・グループワーク
12月10日(土) 10時～12時 総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>「精神保健福祉ボランティアとは」</li> </ul> 佛教大学 講師 塩満 卓氏 ・グループワーク

◆実習日程表：11月27日(日)～12月9日(金)の間、1日以上参加

<b>&lt;コーヒー染め&gt;</b> のぞみ福祉会 ブルーリボン 11月29日(火)・30日(水)・12月2日(金)・6日(火)・7日(水) 10時～12時 または 13時半～17時		
<b>&lt;街かど探検隊&gt;</b> のぞみ福祉会 シード 12月4日(日) 11時～14時半	<b>&lt;グループワーク(ミーティング)&gt;</b> 吹田市障がい者くらし支援室 12月7日(水) 10時～12時	<b>&lt;おかしづくり・麻雀&gt;</b> のぞみ福祉会 シード 12月8日(木) 13時半～16時
<b>&lt;サロン&gt;</b> NPO すいた以和貴 第2コミキャン2階 期間中(月～金) 11時～18時	<b>&lt;お昼ごはんでっせ(昼食会)&gt;</b> のぞみ福祉会 ブルーリボン 12月9日(金) 10時半～13時	<b>&lt;喫茶&gt;</b> のぞみ福祉会 ブルーリボン 期間中(火～土) 9時～17時

## 赤い羽根共同募金が始まります

今年も「赤い羽根募金」の共同募金運動が、10月1日(土)から12月31日(土)までの期間行われます。(吹田地区では12月25日(日)まで) 共同募金運動で協力いただいた募金は、地域での支え合い活動を実践している地区福

社委員会、大阪府下の福祉施設や団体などの福祉活動に役立てられます。  
みなさまの温かいお気持ち、民間の福祉活動を支えています。共同募金運動に、ご理解とご協力をお願いいたします。



●問い合わせ  
吹田地区募金会  
(吹田市社協内)  
06-6339-1254



☆亥の子谷デイサービスセンター



太鼓をならし、炭坑節を踊りました。ハッピー姿も似合っておられます。(8/3～8/5)

☆内本町デイサービスセンター



ボランティアでたくさんの踊り子さんに来ていただき、利用者の皆様と楽しいひと時を過ごしました。(8/10～8/12)

納涼大会を開催しました!

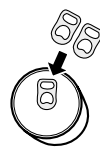
心配ごと相談事業

日常生活のさまざまな心配ごと・悩みごとについて、経験豊かな相談員がお話を伺います。そして、解決に向けての糸口を相談者の方と一緒に探していきます。

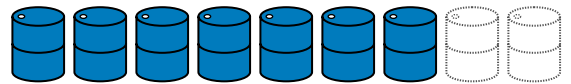
Table with 2 columns: 相談日, 受付時間, 場所. Content: 毎週水曜日(祝日・12月29日～1月3日は除く), 午後1時～3時(予約制ではありません), 吹田市立総合福祉会館1階 相談室

- 相談費用は無料です。
○秘密は厳守いたしますので、安心して相談にお越しください。
※電話相談は行っておりません。
●問い合わせ 吹田市社協 (☎06・6339・1205)

善意銀行のフルトッフ、ありがとう!!



ジュース缶などについているフルトッフを集めると、約800kg(ドラム缶約9本分)で車いす1台に交換してもらえます。平成23年8月末現在、約619kg集まりました。



●問い合わせ 吹田市社協 (☎06・6339・1254)

東日本大震災義援金受け付けています!

吹田市社協で受け付けた義援金は、中央共同募金会をとおして、被災地に届けられます。8月末現在で、6,185,390円の義援金が集まりました。引き続き、義援金の募集にご理解・ご協力をお願いいたします。

●問い合わせ 吹田市社協 (☎06・6339・1254)

吹田市立博物館 特別展

「さわる—みんなで楽しむ博物館—」

9月4日(日)から10月10日(月・祝)まで開催され、博物館のモノをとことんさわることができます。9月の土日祝日には様々なイベントも行われます。また、触図・点字版の図録も販売されます。

●問い合わせ 吹田市立博物館 (☎06・6338・5500)

お知らせ

次号の『すいた社協だより』は「設立60周年記念号」とし、平成24年1月15日発行とさせていただきます。

平成22年度 社会福祉事業会計決算報告(概要)

(資金収支計算書より)

Table with 4 columns: 収入, 金額(千円), 支出, 金額(千円). Rows include items like 地域ふし協力金, 法人運営事業, 共同募金配分金, etc.

平成22年度収支差額(①-②) △15,562千円

平成22年度事業報告・決算報告

- ① 13人のコミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)が、地区福祉委員会活動の支援や、住民の生活課題の改善に向けた支援を行いました。
② 地区福祉委員会やボランティアの協力を得て福祉教育の充実を図りました。この授業を年度と比較して延べ500人以上増加しました。
③ 日常生活自立支援事業の契約利用者が前年度より増加しました。
④ 社会貢献を目的に組織された吹社協施設連絡会の活動を支援し、ネットワークの強化に努めました。
⑤ 吹田市社協が行う介護保険事業を紹介し、地域住民の介護保険制度に関する理解を深めるため、地区福祉委員を対象とした介護保険講座を実施しました。